

**第5回 科学者委員会 ゲノム編集技術に関する分科会
議事要旨**

1. 日時：令和元年10月10日（木）15:00～17:00
2. 場所：日本学術会議5階5-A（2）会議室
3. 出席者：武田委員長、高山副委員長、阿久津幹事、石井委員、伊藤委員（ビデオ）、
大杉委員、島菌委員、名越委員、松本委員（ビデオ）
(敬称略・五十音順)
4. 配布資料（原則電子媒体にて配布）：
 - ・ 前回議事要旨（案）
 - ・ 資料1：哲学系三学会声明
 - ・ 資料2-1：国際連携（International commission on the clinical use of human germline genome editing, Agenda, 第1回、2019年8月13日、於ワシントン）
 - ・ 資料2-2：国際連携（International commission on the clinical use of human germline genome editing, Agenda, 第2回、2019年11月14-16日、於ロンドン）
 - ・ 資料3：学術フォーラム2019年11月24日プログラム案
 - ・ 資料4：ヒトゲノム編集に関する法規制のあり方（原案）
 - ・ 参考資料：日本学術会議農学委員会・食料科学委員会合同遺伝子組み換え作物分科会主催「ゲノム編集生物と社会について考える」
(2019年7月6日)
 - 参考資料1：シンポジウム目次・要旨
 - 参考資料2：(参考資料1) 環境省平成31年2月8日付環境省自然環境局長通知
 - 参考資料3：(参考資料2) 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会 新開発食品調査部回報告書
 - ・ 追加資料5：「第3回ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用のあり方に関する専門委員会（厚生労働省）」配付資料（一部）

5. 議事概要：

(1) 前回議事要旨について（武田委員長）

議事要旨案が示され、確認された。追加の意見があれば事務局が受け付ける。

(2) 前回からの動き

- ・「第3回ゲノム編集技術等を用いたヒト受精胚等の臨床利用のあり方に関する専門委員会（厚生労働省）」（2019年10月9日）追加資料5（武田委員長）

(3) 関連分科会からの報告

- ・いのちと心分科会：ゲノム編集のヒト生殖医療利用に関する提言を各委員分担執筆中である。：資料なし（石川委員、田坂委員）
- ・哲学系三学会声明「ゲノム編集による子供の誕生についての声明」：資料1（島菌委員）
- ・農学委員会シンポジウム参考資料（高杉委員）

(4) 国際連携について

- ・「International commission on the clinical use of human germline genome editing」米国NAS、NAM、英国ロイヤルソサイエティー主導の国際会議について（阿久津委員）：資料2-1：資料2-2
- ・WHOについて

(5) 学術フォーラムについて

- ・2019年11月24日（日）学術会議講堂にて行う。プログラムについて説明があった。資料3（武田委員長）

(6) 法規制に関する提言について

- ・提言内容と発出時期について（武田委員長）
- ・提言内容骨子について：資料4（高山副委員長）
- ・討論（各委員）

(7) 次回分科会開催について

2019年11月24日に行われる学術フォーラム前後に提言案を検討して再度話し合う可能性がある。

各位委員には後日連絡する。